京都工芸繊維大学 繊維科学センター

お問い合わせ
〒606 8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地13号館4階
［地下鉄烏丸線松ヶ崎駅より徒歩10分］

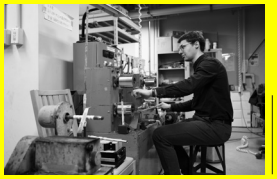
Tel | 075 724 7701
Fax | 075 724 7705
Mail | fiber@kit.ac.jp
https://www.cfts.kit.ac.jp/

京都工芸繊維大学
デザイン主導
未来工学センター
パンフレット

繊維科学センター

Center for Fiber and Textile Science

本学は、我が国の
学術・科学技術の発展における多大な貢献と、
繊維科学・工学分野において
数多くの優秀な人材を育成してきましたが、
同分野の教育研究を統括する独立組織として
「繊維科学センター」を2006年に設立しました。
また、2015年には、
繊維科学・工学分野の新たな教育・研究組織として、
「繊維学域」「繊維学系」が組織されたのに伴い、
更に新しいグローバルな繊維科学・工学に
関わる技術開発を推進する役割を果たすことが
求められるようになってきました。
本センターは、さまざまな芸術や伝統、文化が
今も息づく京都の地で発祥した繊維学部を通じて
蓄積してきた繊維科学・工学の学術と技術を
引き継ぎながら、
「繊維学域」「繊維学系」及び、
より多様な本学の教育研究部門と、
連携することによって繊維に関わる技術と、
最新の科学との一層の醸成を図ることで、
次世代の繊維科学・工学体系の総合的かつ
グローバルな確立と発展をめざして
邁進いたします。


延伸機を用いた繊維強度実験

繊維科学と工学体系を結ぶ組織づくり

繊維科学センターに、インターナショナル室、フィージビリティー室、エデュケーション室、プロジェクト室の4つの室を置き、繊維学域・繊維学系を始めとする本学の多彩な教育研究部門と連携して、「繊維力」を発揮する組織作りを行っております。インターナショナル室では海外の繊維系大学・研究機関との連携推進、フィージビリティー室では繊維研究の実用化に向けた連携推進、エデュケーション室では繊維教育の推進および人材育成における海外との連携、プロジェクト室では大型外部資金獲得に向けた研究体制作りの支援を行い、繊維科学・工学体系の総合的な確立と発展を目指します。

繊機を用いた実験

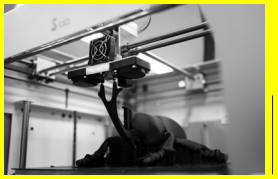
3Dプリンタ用フィラメントの開発

主要な事業

センターが中心となって行っている主な事業

- センター主導ファイバーデザイン学プロジェクトの推進
- 繊維学サマースクールの実施
- 東京/大阪地区講演会の開催
- AUTEX［Association of Universities for Textiles］に加盟、EU繊維大学との連携推進
- アジア・アフリカ学術会議の開催
- 海外繊維大学・研究機関との共同研究推進
- 京都市産業技術研究所との共同研究推進
- 兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センターとの共同研究推進
- 繊維国際会議における成果発表推進
- 繊維企業の技術および製品の開発支援
- 繊維技術者の紹介支援

3Dプリンタ用フィラメントの開発


3Dプリンタ用フィラメントの開発と応用

教育プログラム/コース

繊維科学プログラム
［工芸科学部に設置された繊維教育プログラム］

インテリジェント繊維（新機能性繊維、高価値繊維）の創成と繊維機能付与プロセスに重点を置いた創造的繊維教育、および供給-消費ネットワーク型の新しい繊維産業・流通体系を確立していくために求められる高度なマルチタスク型人材の育成プログラム
（繊維科学センターオリジナル実学志向9科目+関連12科目）

繊維・ファイバー工学コース
［信州大学・福井大学連携による大学院工芸科学研究科に設置された繊維教育に特化したコース］

教育研究資源を連携・融合し、各大学の強みを活かし、3大学で繊維の世界をリードする繊維系大学連合の構築を目指す。また、産業関連団体、繊維系資格関係団体、繊維系関係学会とが連携して、アカデミックインターンシップ、海外大学教員による授業を開講し、同分野の基礎から応用、製品開発までの一貫した知識・技術を修得させ、グローバルな視野を持ち、課題設定力・課題解決力、リーダーシップを兼ね備えた技術者、研究者を育成するコース

新素材による溶融紡糸試作実験

Center for Fiber and Textile Science

京都工芸繊維大学デザイン・建築未来工学センターパンフレット｜繊維科学センター